2026年10月21日
日本銀行松山支店

愛媛県金融経済概況

１.概観

愛媛県の景気は、中東情勢の影響もあって一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては持ち直している。

すなわち、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は、弱い動きとなっている。設備投資は、増加している。公共投資は、高水準で推移している。こうした中、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境をみると、緩やかに持ち直している。

２.各論

(1)需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、一部に弱い動きがみられる。

設備投資は、増加している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。

業態・品目別の需要動向

大型小売店販売（百貨店、ｽｰﾊﾟｰ、ﾄﾞﾗｯｸﾞｽﾄｱ等）	底堅く推移している。
コンビニエンスストア販売	底堅く推移している。
家電販売	増加している。
乗用車販売	横ばい圏内で推移している。
宿泊・観光施設の入込み	堅調に推移している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

(2)生産

生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

業種別の生産動向

繊　　維	横ばい圏内の動きとなっている。
紙・パルプ	横ばい圏内で推移している。
化　　学	弱い動きとなっている。
プラスチック製品	低調に推移している。
非鉄金属	堅調に推移している。
食　　料　　品	増加している。
はん用･生産用機械	横ばい圏内で推移している。
電気機械	持ち直している。
輸送機械（造船）	高操業となっている。

(3)雇用・所得

雇用・所得環境をみると、緩やかに持ち直している。

(4)物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、１％台のプラスとなっている。

(5)企業倒産

企業倒産は、前年を下回った。

(6)金融情勢

実質預金、貸出金とも前年を上回っている。貸出約定平均金利は、前月比上昇した。

以　上